



Toho University

患者図書室における選書，蔵書 構成に基づいたサービス

東邦大学医療センター大森病院
「からだのとしょじつ」のご紹介

東邦大学医学メディアセンター 押田いく子

公共図書館員のための医療情報サービス研修会 in 大阪

2015年1月29日 豊中市立岡町図書館

内容

1. 運営目的

2. 利用者

3. 利用者ニーズ

- ・レファレンス記録から
- ・利用者は本をどのように選び読まれたか

4. 蔵書構成

- ・「からだのとしよしつ」資料収集・提供の方針
- ・選書と選書ツール
- ・信頼できるWebサイト
- ・除架

5. 選書基準(文献紹介)





運営目的と情報提供の基本方針

運営目的

- ・インフォームド・コンセントを推進するために患者さん、ご家族、一般市民に質の高い医学情報を提供する
- ・癒しの空間を提供する

情報提供の基本方針

- ・医学的根拠のある情報を提供する
- ・必要に応じて医学メディアセンターの蔵書も提供する

東邦大学医療センター大森病院の理念

本院は、よき医療人を育成し、高度先進医療の研究・開発を推進することにより、患者に優しく安全で質の高い地域医療を提供します。

- ・患者に優しい医療
- ・安全な医療
- ・質の高い医療
- ・地域医療



「からだのとしょじつ」の利用者2013年度

利用者数	(単位:人)
患者, ご家族等	5,521
職員等	340
見学者	677
合計	6,538



「からだのとしょじつ」の利用者2013年度

男性	37%
女性	63%

入院	23%
外来	63%
付き添い	14%

～20歳	12%
～40歳	41%
～60歳	25%
61歳～	22%



規約類

東邦大学医療センター大森病院「からだのとしよしつ」
規約

同 運営委員会規約

同 運用規約

「からだのとしよしつ」資料収集・提供の方針

「からだのとしよしつ」業務マニュアル

情報提供のガイドラインと守秘義務



東邦大学医療センター大森病院「からだのとしよしつ」規約

[設置]

第一条 心身の健康と疾病について知る権利（患者の知る権利）を尊重し，インフォームドコンセントの理念に基づき，東邦大学医療センター大森病院に患者図書室をおく。名称は「からだのとしよしつ」とする。

- ・患者の知る権利



情報提供のガイドラインと守秘義務

「からだのとしよしつ」の医療情報の提供について

- ・決して特定の治療法を薦めているわけではありません
- ・提供する資料は、質問に対して、ごく一部分の解答でしかありません
- ・提供する資料は、患者さんご自身の状態と適合しているとは限りません
- ・提供する資料は、患者さんが担当医師と、より具体的な話し合いを可能にする材料としてご利用ください

患者さんの個人情報について

「からだのとしよしつ」で受けた質問や利用された情報について、担当医やご家族、その他の方に伝えることは決してありません

スナイダー足立純子. Englewood Hospital and Medical Center Libraryにおける患者への情報提供サービス: Information Therapy. 医学図書館 1995; 42(2):138-144 より



利用者

利用者

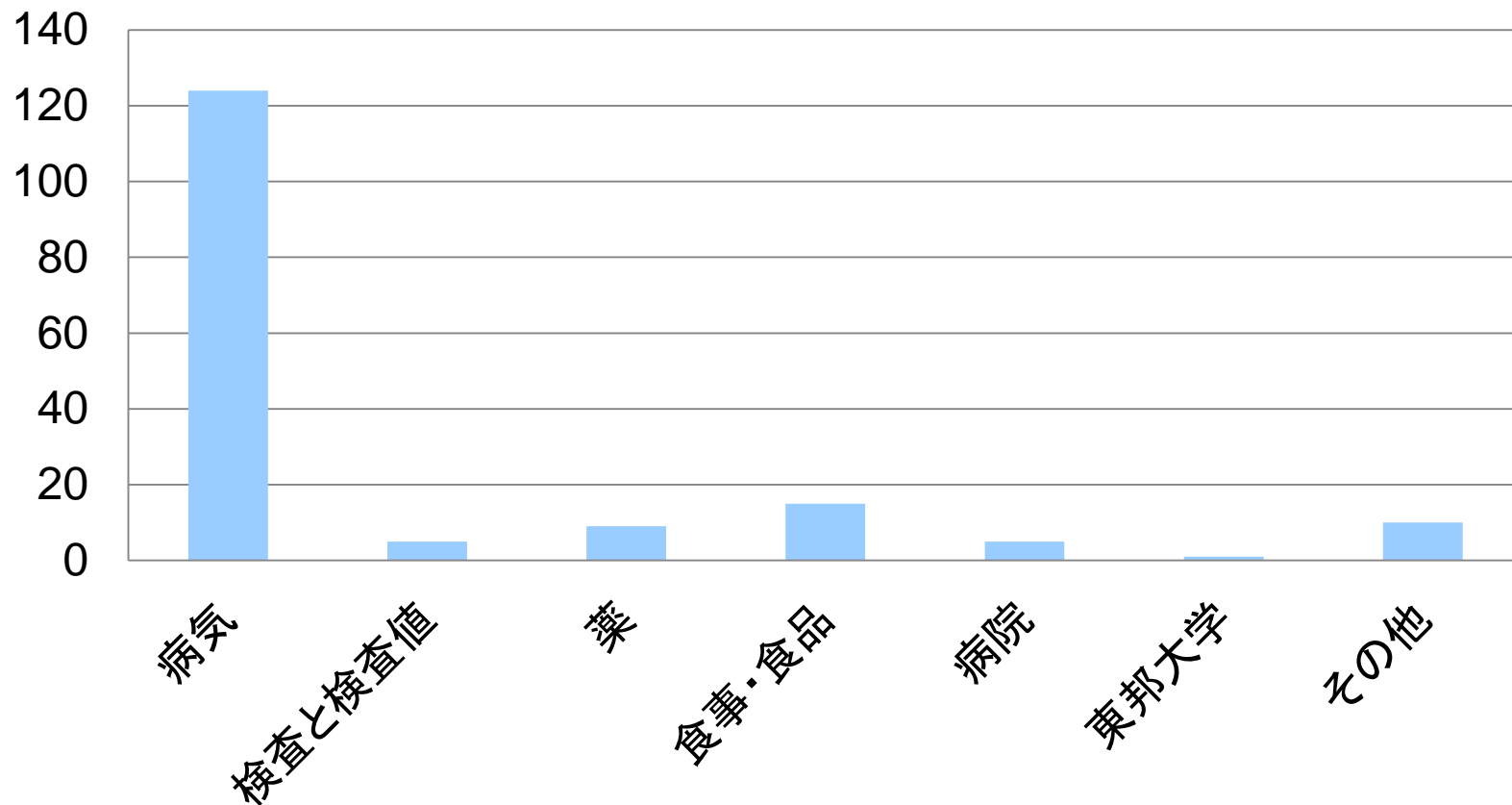
- ・個人的で具体的な疑問を持っている
- ・患者の医療参加についての認識がある
- ・患者の自己決定について理解している
- ・家族や知人の病気について調べたい方もいる
- ・漠然とした不安を抱えている方もいる

利用目的

- ・医師の説明を聞いて理解したつもりだが、資料を読んで確認したい
- ・医師の話の中に意味のわからない言葉があったが質問するタイミングを逃した
- ・治療についての医師との面談に備えて質問することをあらかじめまとめておきたい
- ・ほかの病院ではどのような治療がおこなわれているのか
- ・帰宅して医師から聞いた話を家族に伝えるので見せながら説明できる資料が欲しい
- ・退院後の暮らしに必要な福祉制度などについて知っておきたい

利用者ニーズ

レファレンス記録2013年度



レファレンス記録から：原発性アルドステロン症

質問

- ・原発性アルドステロン症と診断された
- ・治療についての担当医との面談に備えて病気の概要を確認したい・・・①
- ・海外の文献も読みたい・・・②

回答

①について

「今日の治療指針」の該当ページを紹介した

利用者用PCで難病情報センターのHPをご覧いただいた

プリントされ、詳細情報はご自宅のPCでアクセスされるとのこと

②について

利用者用PCでPubMed検索をおすすめした。キーワード選定の相談に乗った

その後、利用者から伺ったこと

資料を読んで、解明されていない部分の多い病気であることがわかった。面談に備えて質問事項をまとめておいたことがよかった。医療福祉に関する難病情報センターの情報が有益だった。

本をどのように選び読まれたか

股関節の痛み 別冊
NHKきょうの健康
松山肇 NHK出版
2012

股関節の痛みをとって、
美しくさっそうと歩く
平川和男 講談社
2012

変形性股関節症の運動・
生活ガイド 松田達男
日本医事新報社 2011



蔵書構成の方針：選書と除架

方針

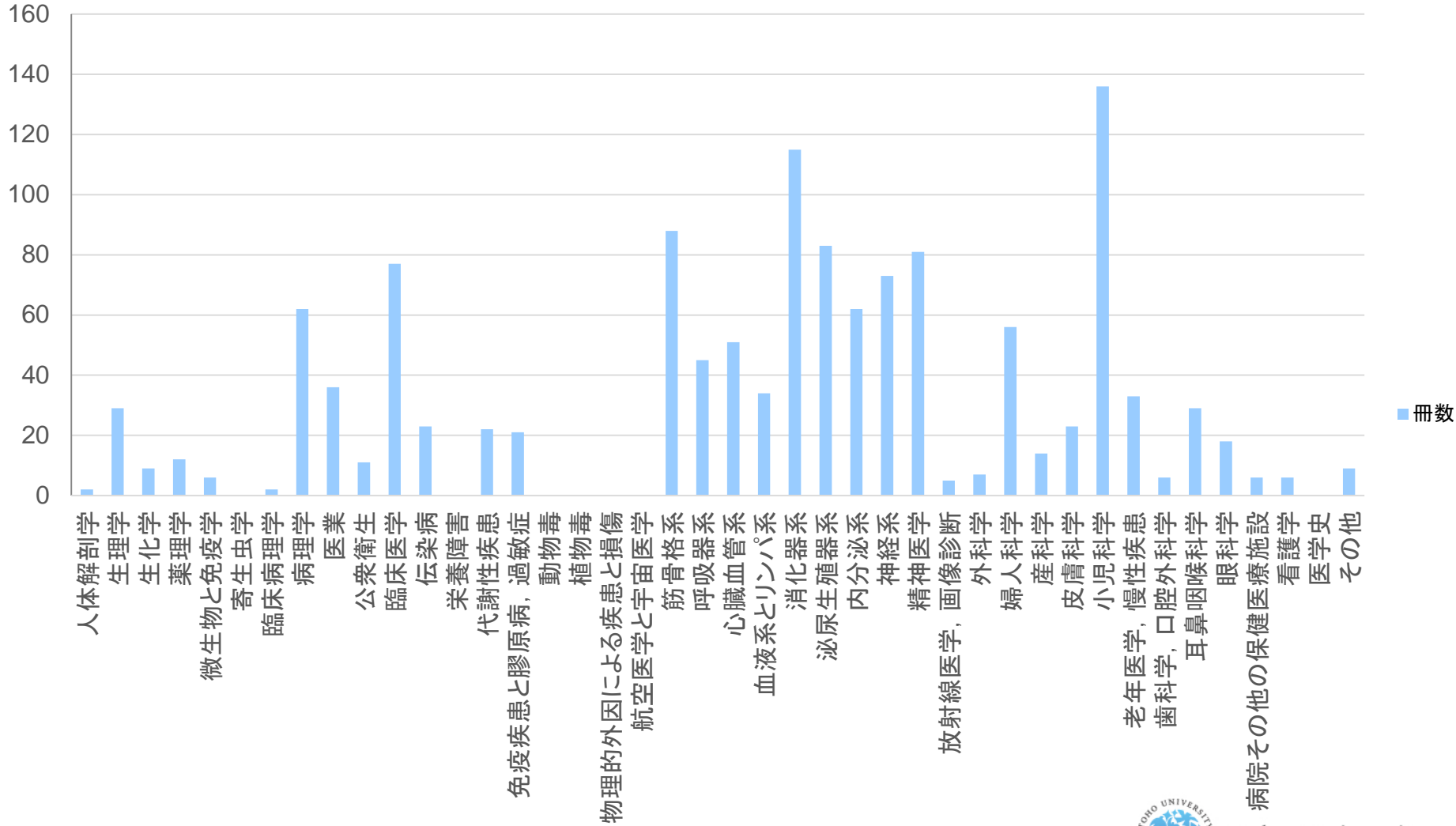
- ・1,200冊程度の蔵書を更新して維持する
- ・そのために毎年100冊程度の新刊書追加と除架をおこなう
- ・資料の選択は「からだのとしよしつ」資料収集・提供の方針に沿っておこなう
- ・「からだのとしよしつ」運営委員会の承認を得る

2013年度末の蔵書数

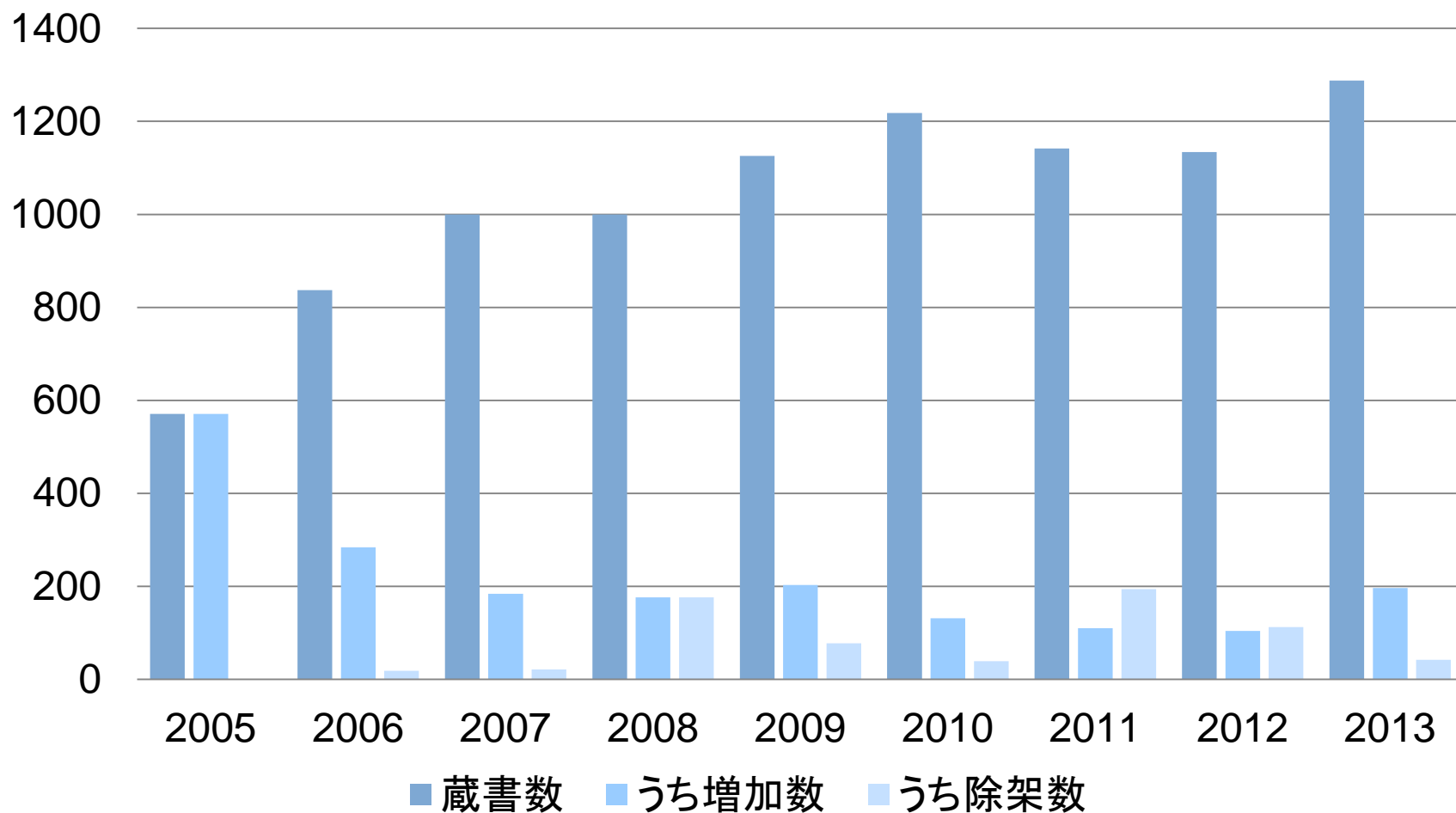
- ・蔵書数 1,288冊（図書1,280冊 視聴覚資料8点）
- ・受入雑誌数 8誌
- ・配布用パンフレット 166種類



分類別蔵書数2013年度



蔵書数，増加数，除架数



からだのとしょじつ資料収集提供の方針

<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada/about.php>

よく使われる図書的主題

- 人体の構造と機能
- 食事
- 薬
- 検査
- [家庭の医学]本



資料選択のめやす

資料	めやす
図書, 視聴覚資料	<ul style="list-style-type: none">・一般向けレベル・医学生の教科書レベル・臨床医の座右の書レベル
雑誌	<ul style="list-style-type: none">・身近なテーマが包括的に解説されている・学会や学会関連団体が発行している
パンフレット, リーフレット	<ul style="list-style-type: none">・信頼できる団体が発行している・監修者が明記されている・商品などの宣伝のみが目的でないことが明白
Web情報	<ul style="list-style-type: none">・JIMA(日本インターネット医療協議会)の「インターネット上の医療情報の利用の手引」に沿っている



選択のレベル

レベル	資料名
一般向け	<p>よくわかるインフルエンザのすべて / 河合直樹 医薬ジャーナル社 2013 ¥3,024</p> <p>患者さんと家族のためのがんの痛み治療ガイド / 日本緩和医療学会 金原出版 2014 ¥1,512</p>
医学生 of 教科書	<p>Standard textbook 標準整形外科学 (第12版) / 松野丈夫/中村利孝 医学書院 2014 ¥10,152</p> <p>NEWテキストシリーズ NEW外科学 (改訂第3版) 出月康夫/古瀬彰/杉町圭蔵 南江堂 2012 ¥10,260</p>
臨床医の座右の書	<p>今日の治療指針2015年版 私はこう治療している / 福井次矢/高木誠/ 医学書院 2015 ¥20,520</p> <p>JAPIC医療用医薬品集 2015 / 日本医薬情報センター 2014 ¥14,040</p> <p>診療ガイドライン</p>



図書を選択事例

新着リスト



パンフレット・リーフレットの選択の事例

資料の特徴

- ・主題はカレントなものが多い
- ・表現は簡潔なので体調が悪くても読みやすい
- ・持ち帰ることができる
- ・企業の社会貢献や非営利団体の啓蒙活動用等として制作されるので入手のための費用が発生しない
- ・主題に偏りがある

<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada/>



除架

資料の有効期限は短い

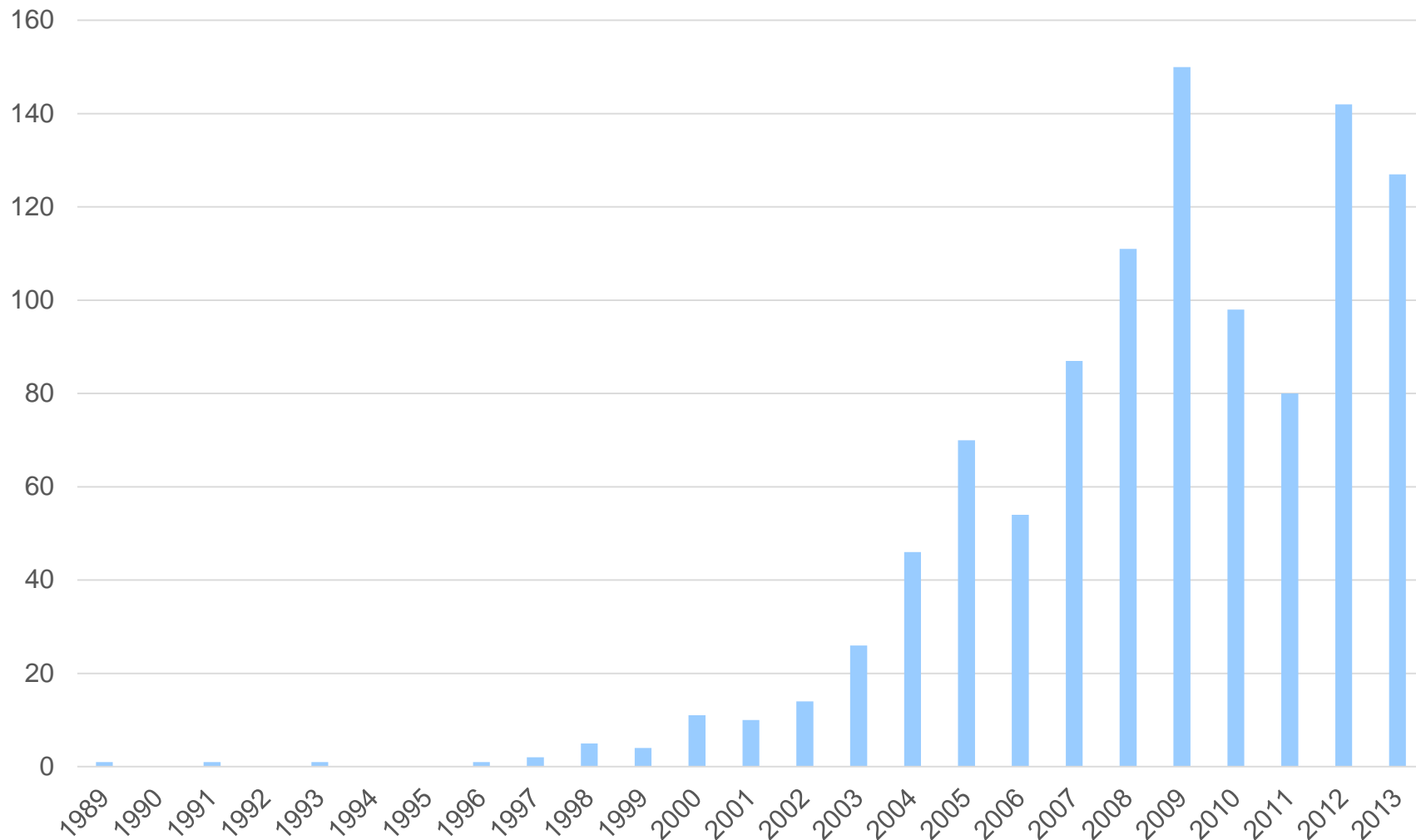
- ・医学分野の研究は展開が速い
- ・福祉分野の資料は法律や制度の改正がある

除架候補図書を選択のめやす

- ・「からだのとしょじつ」資料収集・提供の方針に合わなくなったもの
- ・汚損・破損



発行年別蔵書数 単位冊数



選書ツール

一般社団法人 日本医書出版協会

<http://www.medbooks.or.jp/>

メテオメディカルブックセンター

<http://www.molcom.jp/>

紀伊國屋書店KINOKUNIYA WEB STORE

<http://www.kinokuniya.co.jp/>

リテリス

<http://literis.umin.jp/>



信頼できる医療情報Webサイト

- ・公益財団法人 難病医学研究財団/難病情報センター

<http://www.nanbyou.or.jp/>

- ・日本医学会分科会

<http://jams.med.or.jp/members-s/>

- ・Minds医療情報サービス

<http://minds.jcqhc.or.jp/n/#>



選書基準

患者図書室における保健医療関連資料の蔵書構築に際して、司書は何を基準にするか？現象学的研究

Janet Papadacos, et al., What criteria do consumer health librarians use to develop library collections? A phenomenological study. J Med Libr Assoc. Apr 2014; 102(2):78-84

概要	蔵書構築方針に明記されている選書基準と、司書が実際におこなった選書プロセスを比較した
方法	<ul style="list-style-type: none">・4人の司書に一般向けパンフレットを評価してもらい、評価プロセスを電話インタビューで述べてもらった・4人に蔵書構築についてのオンラインアンケートにも回答してもらった・4人が所属する患者図書室の蔵書構築方針を比較した
結果	<ul style="list-style-type: none">・4人の司書が所属する患者図書室の選書基準には類似の項目が5項目あった・選書の際に使われた基準は、この5項目のほかに、蔵書構築方針には含まれていない8項目を含む13項目だった
結論	蔵書構築方針には、蔵書構築において不可欠な基準が欠けていることがわかった



考察

- 蔵書構築方針に含まれていない基準すなわち現場の司書の暗黙の了解ともいえる基準が利用者サービスに付加価値を与えている
- 暗黙の了解のようなかたちで使われている基準を分析して、選書基準に反映させることが必要
- 現場の司書の知識は、司書相互の広範な人的なつながり、定期的な研修などの交流を通して形成される

4人の司書の所属

司書	病院名	ネットワーク名
A	Princess Margaret Cancer Center	UHN: University Hospital Network Toronto, Canada
B	Toronto Western Hospital	UHN: University Hospital Network Toronto, Canada
C	CRO: Centro di Riferimento Oncologico Aviano, Italy	
D	CRO: Centro di Riferimento Oncologico Aviano, Italy	



類似の選書基準5項目

基準	注	補足
1. 関連性	利用者ニーズに関連がある	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者は患者, 家族, 医療スタッフなので, 選択する資料は患者サポート, 医療サービス, 施設, 教育, 研究成果を伝えるもの
2. 信頼性	信頼性がある	<ul style="list-style-type: none"> ◆信頼性が高く出典が明らかで偏向や利害が存在しない資料 ◆信頼性が高い資料とは, 資料作成者の使命感や資料作成目的に透明性があること ◆内容は, 各研究分野で適切な研修を経た専門家の作成したもの ◆資料作成者の名前, 資格, 所属などが明記され, それが容易に確認できること, さらに連絡先が明記されていること
3. アクセシビリティ	使いやすい	<ul style="list-style-type: none"> ◆言語や形態が利用者ニーズに合っているか ◆利用者はわかりやすい言語で書かれた資料を好む ◆音声資料は分厚い書籍や難解なパンフより人気がある
4. 新しさ	情報がタイムリーなこと	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料は随時更新され, 出版日や最新版の日付が明記されていること
5. 相互作用性	連絡先が明記されている	<ul style="list-style-type: none"> ◆連絡先明記の目的が, 資料作成者と利用者とのフィードバック或いは交流を奨励することにあるなら, 資料は, 相互作用的役割も担う

司書が独自に設定した選書基準8項目 その1

基準	注	補足
6. 実用性	具体的な情報や助言が含まれていること	♠臨床試験に関する資料の場合、患者の役割、具体的に何をするのか、参加申し込みの方法などが含まれていること ♠臨床試験の定義などは不要
7. 重複	内容が既存資料と重複しない	♠既存の資料と比べて、情報サポートを推進、拡大すると認められる資料
8. 内容レビュー	必要があれば専門家に依頼する	♠内容レビューを専門家に依頼した資料は、病気によって失われる日常生活の性的な部分に関する資料で、これは心理学専門家に判断を依頼した
9. 免責	利用者への注意勧告	♠CRPでは1の信頼性に含まれるがUHNでは独立の基準としている



司書が独自に設定した選書基準8項目 その2

基準	注	補足
10. トーン	表現や言語スタイル	♠適切な表現が用いられているもの ♠利用者から否定的な反応を引き出すと思われる言葉や言い回しを使った資料は選択しない
11. 限界と寛容	適切な資料があるとは限らない	♠難病などの情報はつねに不足している ♠ほかに適切な資料が無い場合は、例えばアクセス性に問題があったとしても選択することがある
12. 近接性	近隣の図書室と資料を共有する	♠自館の蔵書を補足する意味で他館と資料を共有する
13. 認証ラベル	専門機関の評価を受けた資料	♠専門機関による認証は、司書の選書業務をサポートする ♠しかし認証がないからと言って除外するという意味ではない





Toho University

ご清聴ありがとうございます。
